



平成 29 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名	三 谷 産 業 株 式 会 社 代表取締役社長 饗庭 達也
コード番号	8285 (東証・名証第一部)
本社所在地	石川県金沢市玉川町1番5号
問い合わせ先	
責任者役職名	常務取締役 財務担当
氏 名	西野 誠治
T E L	076 ( 233 ) 2151

### 富士通株式会社が保有する ベトナム子会社の出資持分取得（子会社の異動）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、富士通株式会社（以下、「富士通」）が保有する同社子会社 Fujitsu Computer Products of Vietnam, Inc.（以下、「FCV社」）の出資持分 50.00%を取得し、子会社を異動することについて決議いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 出資持分取得の理由

当社は、昭和 41 年に販売特約店契約を締結して以降、情報システム事業をはじめ、ケミカル事業等、複数の事業領域において、富士通との取引を行ってきました。

樹脂・エレクトロニクス事業においては、当社M&E事業部、当社子会社 Aureole Business Components & Devices Inc. および Aureole unit - Devices Manufacturing Service Inc.（以下、「ADM S社」）が車載向け樹脂成形品の製造・販売を担っています。

自動車業界においては、車載部品のエレクトロニクス化が進んでおり、樹脂成形品に電子製品を組み合わせた複合ユニット製品の需要が今後ますます拡大していくと予想されます。また、車載製品メーカーにおいては、自動車メーカーの新興国展開により、現地調達率向上への取り組みが強化されるとともに、性能・品質・コストへの要求も一層高まっており、競争環境はより一層厳しくなっていくことが想定されます。

平成 26 年 8 月には当社と富士通の子会社でプリント基板の製造およびプリント板ユニットの組立を行うFCV社との共同出資会社ADMS社を設立し、車載向け樹脂成形品の製造および複合ユニット製品への取り組みにより当社顧客の現地調達率向上に貢献してきました。さらに、複合ユニット製品の本格生産および樹脂成形品の新規大型案件に対応すべく、本年 7 月の完工に向けてADMS社工場の増築も進めています。

このような状況下、当社グループが保有する樹脂成形技術と富士通グループが保有する電子製品技術に対する知見を集約し、樹脂成形品の製造からプリント基板ユニット組立および最終検査までの一貫生産体制をさらに強化するためには、協業を超えた強い連携の枠組みが必要と考え、富士通と協議を重ねた結果、富士通が保有するFCV社の出資持分 50.00%を譲り受けることとなりました。

本件の取得によって、樹脂成形品と電子製品を組み合わせた付加価値の高い複合ユニット製品への取り組みをより加速させ、当社顧客のニーズに応えてまいります。

## 2. 異動する対象会社の概要

(1) 名 称	Fujitsu Computer Products of Vietnam, Inc.			
(2) 所 在 地	ベトナム社会主義共和国ドンナイ省ビエンホア工業団地			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 本宮 章			
(4) 事 業 内 容	プリント基板の製造およびプリント板ユニットの組立			
(5) 資 本 金 (110 円/\$ 換算)	4,653 百万円 [42.3 百万米ドル] (平成 28 年 9 月末現在)			
(6) 設 立 年 月	平成 7 年 9 月			
(7) 出 資 比 率	富士通株式会社 100%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当該会社は ADMS 社の出資持分 32% を保有しております。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。		
	取 引 関 係	当社は当該会社と化学品の取引関係があります。		
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態 (110 円/\$ 換算)				
	決算期	平成 26 年 3 月期	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期
純 資 産		5,190 百万円	5,336 百万円	5,326 百万円
総 資 産		6,604 百万円	6,907 百万円	7,224 百万円
1 株 当 たり 純 資 産		—	—	—
売 上 高		9,018 百万円	9,763 百万円	10,926 百万円
営 業 利 益		▲1,329 百万円	187 百万円	10 百万円
経 常 利 益		▲1,248 百万円	233 百万円	51 百万円
当 期 純 利 益		▲3,884 百万円	147 百万円	▲7 百万円
1 株 当 たり 当 期 純 利 益		—	—	—
1 株 当 たり 配 当 金		—	—	—

## 3. 出資持分取得の相手先の概要

(1) 名 称	富士通株式会社	
(2) 所 在 地	神奈川県川崎市	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 田中 達也	
(4) 事 業 内 容	ソフトウェア、情報処理分野および通信分野の製品の開発、製造および販売ならびにサービスの提供	
(5) 資 本 金	324,625 百万円 (平成 28 年 9 月末現在)	
(6) 設 立 年 月	昭和 10 年 6 月	
(7) 連 結 純 資 産	856,409 百万円 (平成 28 年 9 月末現在)	
(8) 連 結 総 資 産	3,003,658 百万円 (平成 28 年 9 月末現在)	
(9) 大株主及び持株比率 (平成 28 年 9 月末現在)	富士電機株式会社	11.04%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	4.53%
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3.76%
	富士通株式会社従業員持株会	2.81%
	株式会社みずほ銀行	1.79%

(10) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	当社は当該会社の株式 31,695 株を保有しております。 当該会社は当社の株式 2,420 株を保有しております。
	人的関係	当社グループは当該会社より出向者を受け入れております。
	取引関係	当社グループは当該会社と主に化学品、情報機器およびソフトウェアの取引を行っております。
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。 また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。

#### 4. 取得価額及び取得前後の出資持分の状況

(1) 異動前の出資持分	0%
(2) 取得する出資持分	50.00%
(3) 取得価額	15 百万米ドル
(4) 異動後の出資持分	50.00%

(注) 出資持分については小数点以下第3位を四捨五入しており、持分の過半数は当社が保有いたします。

#### 5. 日程

(1) 取締役会決議日	平成 29 年 3 月 30 日
(2) 契約締結日	平成 29 年 4 月末日 (予定)
(3) 譲渡実行日	平成 29 年 5 月末日 (予定)

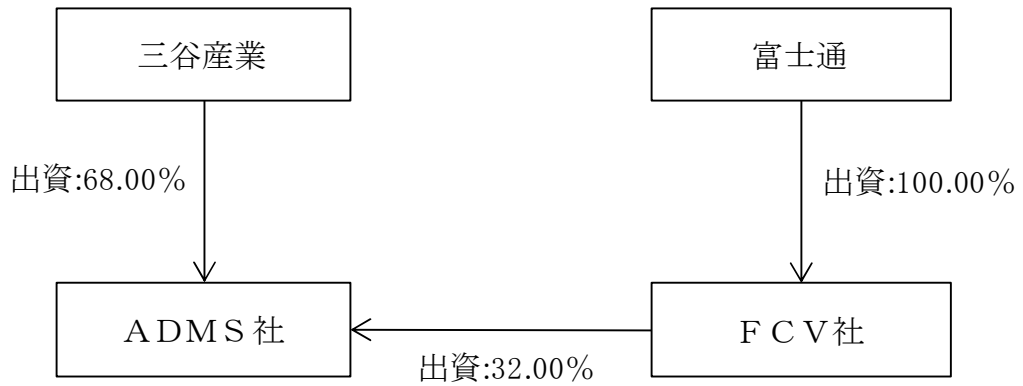
#### 6. 今後の見通し

本件出資持分取得により、FCV社は、平成 30 年 3 月期第 1 四半期から当社の連結子会社となる予定であるため、当社の今期連結業績に与える影響はありません。

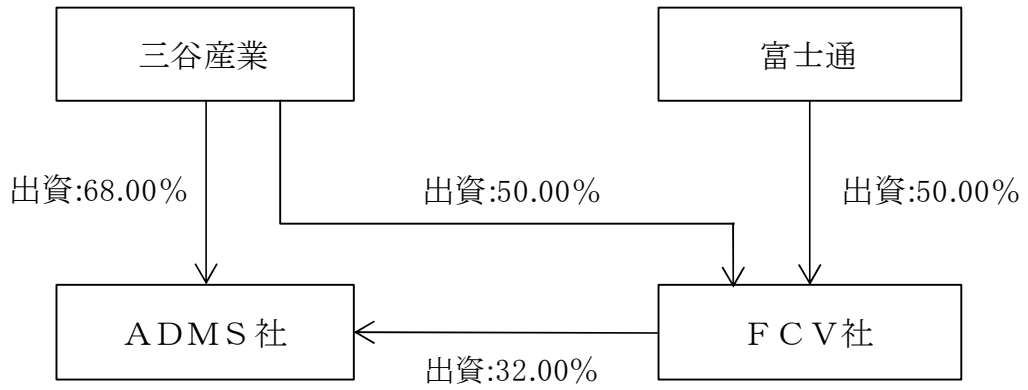
なお、来期連結業績に与える影響については現在精査中であり、平成 29 年 4 月 28 日の当社決算発表時に公表する来期業績予想に織り込む予定であります。

7. 出資相関図（参考情報）

<出資持分取得前>



<出資持分取得後>



以上